

# 専門家と連携した防災出前授業

講師	下関地方気象台 主任技術専門官 上田 真二 先生
実施校	宇部市立小野小学校 全校児童（29人）
日時	平成25年7月2日（火）10時45分～12時00分

## 1. 天気予報のつくりかた

### ①観測データの収集

アメダス・気象レーダー・気象衛星等から、気温・雨量・風向・風速・日射・雲等あらゆるデータを収集します。



アメダス



気象レーダー



気象衛星

### ②コンピュータによる分析

スーパーコンピュータにより、国内や世界各地で観測された気象データを解析し、天気を予測します。

### ③予報官による予報

コンピュータが予測した天気予報を、予報官が最終確認し、天気予報をつくり発表します。

## 2. 自然災害について

### ○大雨

積乱雲は、急速に発達し、大雨・雷・竜巻を発生させる可能性があります。急な増水や落雷から身を守るためにも、早めに建物等に避難することが大切です。

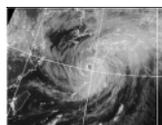


### ○土砂災害

大雨により発生し、がけ崩れ・土石流・地すべりの3種類があります。

### ○台風

日本の南の海上で水蒸気をエネルギーとして発生・発達し、8～9月に日本に近づく



ことが多いです。大雨・暴風・高潮・高波により大きな被害をもたらします。

### ○地震

緊急地震速報を活用して、地震から身の安全を守りましょう。

※ 緊急地震速報とは、地震による強い揺れが予想されるとき、すぐにテレビや携帯電話等でお知らせする情報のことです。

## 3. 質問

Q：地震が起きて避難する途中に、道などが塞がれている場合どうしたらいいですか？

A：速やかに別の安全な場所に避難しましょう。

Q：大雨で家の中に水が入ってきたらどうしたらいいですか？

A：なるべく早く2階などに避難してください。可能であれば、避難所等への避難が有効です。

Q：雷が鳴ったらどうしたらいいですか？

A：建物や車の中に避難しましょう。大きな木の下に逃げては危険です。

## 4. まとめ

通学路やよく遊ぶ場所の危険を確認してください。また、災害が発生したときに避難できる安全な場所についても確認しておいてください。そうすれば、いざという時に自分の命を守ることに役立ちます。是非、おうちの人と一緒に話し合ってください。

